

2016.5

Vol.11

ふれあい

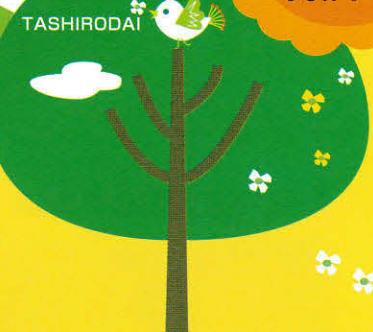


日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 豊美会 田代台病院・精神科・神経内科・内科

発行責任者：院長 河野佳宣 〒754-0122 山口県美祢市美東町真名2941番地 TEL 08396-5-0301 FAX 08396-5-0861 <http://tashirodai-hospital.or.jp>

TASHIRODAI



病院理念

心や生活機能に障害をかかえるお年寄りの治療の為に、職員一同が、家族や地域の方々と連携しながら、医療、看護、介護や啓蒙を総合的に提供していきます。

日本医療機能評価機構
認定第 JC1735号

看護理念

「和」の精神のもと、患者・家族・地域の皆様の期待に応えられる看護を提供します。

田代台病院は、よりよい医療を提供していくために、日本医療機能評価機構の認定を取得しています。

ストレスチェック制度が導入されるにあたって

診療部 診療部長 有田 慈



人間生きていれば、いろいろなストレスに晒されているわけで「暑さ」・「寒さ」もストレスのもと（ストレッサー）であります。ただ現代社会におきましては、社会的ストレッサーとなる職場環境や人間関係といったものが問題になるわけです。

今年から従業員50人以上の事業所において、ストレスチェック制度なるものの実施が義務づけられました。これはストレスに関する質問票に答え、それを分析することで自分のストレスの状態を知り、主に「うつ」などのメンタルヘルス不調を防いでいこうという制度であります。

使用されます57項目の職業性ストレス簡易調査票は、厚生労働省自慢の調査票のようで平成17年に作成、公表されたものです。厚生労働省としてはこれまで事業所等で活用してほしくて堪らなかったもののように、今回制度としてマー強制的に活用していくことに決めたのでしょう。ただこの調査票はインターネットで誰でも入手できますので、職場で活用するだけでなく家庭でも質問票に答えることにより大雑把にはなりましょうが自己分析ができそうです。

57項目の質問のうちメインとなるのが「心身のストレス反応」29項目です。この29の質問は、「ある」・「なし」で回答すると6つの症状に分類され、ストレスのかかり具合がある程度分かる仕組みになっているわけです。ストレスの程度が低い段階から「活気の低下」、「イライラ感」、「疲労感」、「身体愁訴」、「不安感」、「抑うつ感」というような順になっています。

メンタルヘルス不調の未然防止には本人の気付きが重要とされており、そのためのツールとしてこの調査票を活用されることをお薦めします。

外来

安心して受診していただく お手伝いをしています

◇田代台病院の外来は



日常生活や社会生活に支障をきたしたり、心や生活機能に障害を抱える高齢者の方が、受診されています。受診は予約制のため、待ち時間なく受診できます。

初診の場合、患者さんに身体測定、体温・血圧測定、各検査（頭部 CT・採血・認知症テスト等）を行います。



◇外来では

患者さんを来院時から診察終了まで常に見守りができるよう看護師が寄り添い、お話を伺いながら安心して受診していただけるように努めています。

- ・来院時、歩行が困難な方、車椅子の必要な方の車への乗り降りのお手伝い
 - ・患者さんの話し相手、検査のサポート
 - ・気持ちよく受診していただけるように、待合室周辺は季節感を感じられる環境づくり
- 私たちも患者さんの病状、精神状態を把握し、一人一人に合った対応、看護を心がけています。



◇これからも

診察前後には、患者さんやご家族の通院治療などについての不安やお困りごとをお聞きし、いろいろな意見を交わすことで少しでもお役に立てればと考えています。

外来受診をされた患者さんには訪問看護やデイケアをご利用になる方もいらっしゃいます。ご希望がありましたら、利用にむけての相談も受けております。

患者さん、ご家族とも穏やかに楽しく社会生活を送れるように支援を行っていきたいと考えています。





認知症 ケアのポイント

今回の
テーマ

【着替えを嫌がる時】



田代台病院 精神科看護・介護勉強会 認知症部会

認知症の中には、着替えを嫌がる人がいます。こんな時介護者は、その理由が分からずにストレスを感じることがありますよね。

今回は、その原因と対応の方法についてお話ししたいと思います。

【考えられる原因】

- ・着ている服を気に入っている。
- ・環境が整っていない。(寒い、人が周囲に居るなど)
- ・汚れていることがわからない。
- ・服の脱ぎ方、着方がわからない。
- ・服を脱ぐことが恥ずかしい。
- ・汚れたものを見られたくない。
- ・脱いだ服が無くなってしまうと不安になる。
- ・洗濯代がもったいない、洗濯すると服の生地が傷むなど。



【対応の方法】

- ・好み（柄、形など）を知って服を準備する。
- ・安心できる環境を作る。(暖かい、外から見えないなど)
- ・服を準備する時に、着る順番に並べておく。
- ・嫌がっている時は少し時間をおく、落ち着いた時に再度声をかける。
- ・服が汚れた理由を、他の理由に置き換えて説明してみる。
(実際は尿で汚れているが、「お茶がこぼれましたね」と説明するなど)



介護者が強引に着替えをすすめても、認知症の人も不安になり、お互いにイライラしてしまい上手くいきません。

そんな時は、一呼吸置き心を落ち着けて、認知症の人の気持ちを想像してみてください。

きっと、その人に合った良い対応方法が見つかると思します。

デイ・ケア
なごみ通信

～季節を味わう 土筆と蕗～

なごみの庭には、つくしとフキが一面に広がっていました。「つくしは食べられるよ」「煮しめや天ぷらがええね～」という話から、さっそく摘みに行き…あっという間にお盆いっぱいに収穫しました。「向こうにはフキがあるよ」とフキも収穫。

フキの皮取り、つくしのはかま（節目のかたい部分）取りはお手のもの。

つくしの味付けは、砂糖にしょう油と甘辛く、最後に卵でとじてツツツと煮れば出来上がり！！ほとんどの皆さんが口にするのは初めてとの事でしたが、ドキドキしながら食べてみると「美味しい」と大好評。フキも美味しいいただきました。「来年はもう少し早めに収穫して食べよう」と早くも来年の段取りの話しで盛り上がっていました。



調理をして食べることは基本的な欲求を満たすものであり、脳の活性化にも有効な活動の一つです。食物を介することにより和やかな雰囲気が生まれ、他者との交流の場となります。一緒に調理をしながら食べることでも季節を感じてみてはいかがでしょう。

作業療法士 岩本 浩行

第11回

ミニ・フォーラム in なごみ

～わたしたちが目指す地域像～

日 時: 平成28年6月12日(日曜日) 13:30～

講 師: 瀧山 進 氏(仮認定NPO法人いろりの家 事務長)

テー マ: 地域のことは地域で!「地域の居場所づくり」

その他: 事前予約は不要です。ご不明な点がございましたらお電話にてお問い合わせください。

編集
後記

職場の日帰り旅行で、マリンワールド海の中道海浜公園に行ってきました。イルカ・アシカのショーはとてもかわいく、水槽は優雅な魚の泳ぎ。広場ではたくさんの親子がボール投げやひなたぼっこをする姿、あんな頃があったと思い出し、チューリップの花に癒された1日。そして、大きくなった息子と楽しい時間を過ごせた1日に感謝。(岡崎)